

火山噴火編

火山噴火に備えて
樽前山ハザードマップを
確認しておきましょう。



樽前山ハザードマップ

この地図は、樽前山が大規模噴火を
おこした場合に予想される
降灰区域などを表したものです。

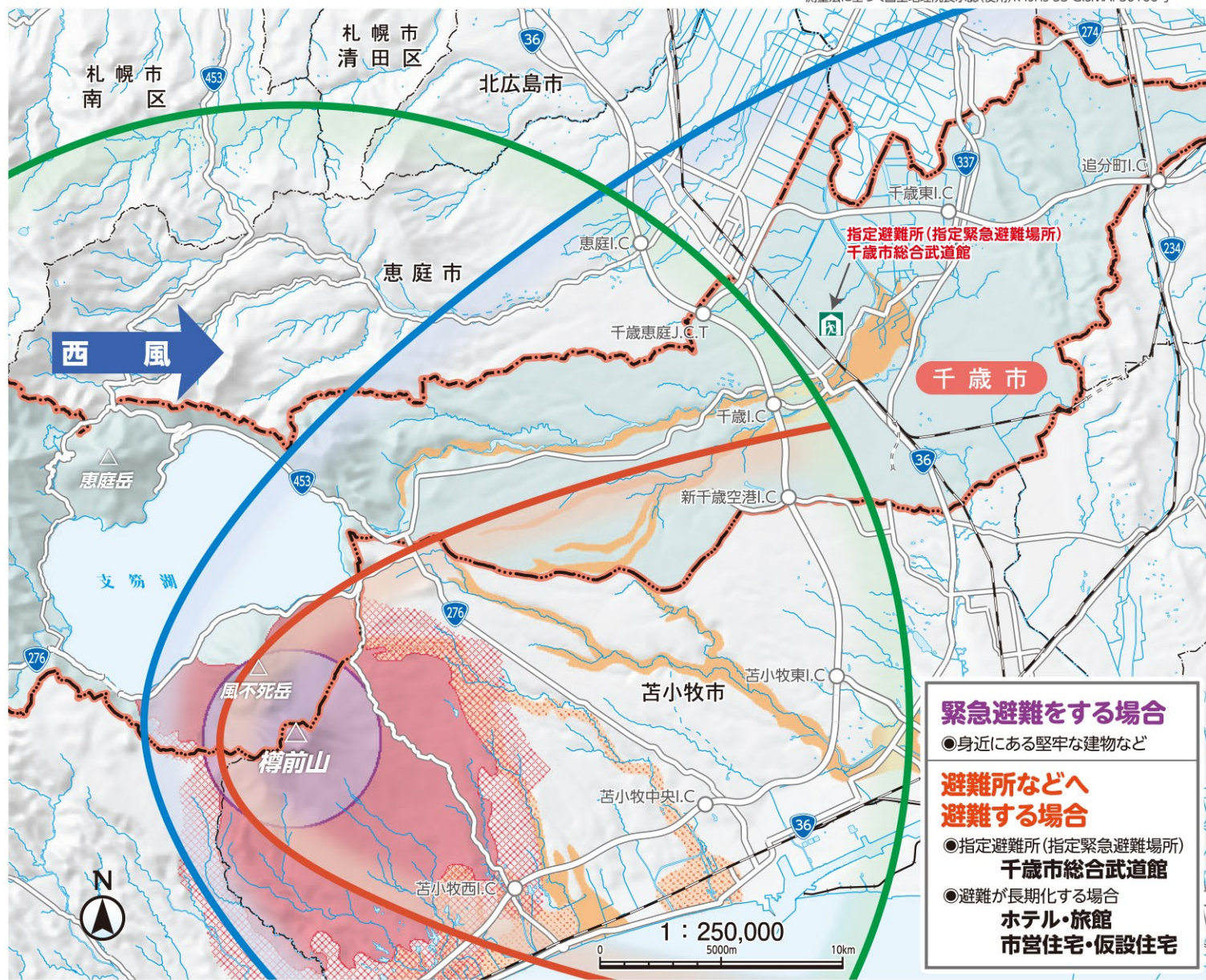
樽前山について

近郊の活火山としては、樽前山(風不死岳を含む)、恵庭岳が存在し、なかでも、樽前山は、1981年(昭和56年)の小規模噴火後は比較的平穏な状態を保っていますが、現在も噴気活動を続けており、注意が必要です。

樽前山の噴火警戒レベル

気象庁では、火山活動の状況に応じ噴火に関する警報・予報を発表しています。これらの情報を活用して
落ち着いて行動するようにしましょう。

種別	名称	対象 範囲	レベル (キーワード)	火山活動の状況	住民等の行動及び 登山者・入山者等への対応	想定される現象等
特別警報	噴火警報(居住地域)又は噴火警報	居住地域及びそれより火口側	5 (避難)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態にある。	危険な居住地域からの避難等が必要。	●大規模噴火が発生し、火砕流が居住地域まで到達、あるいはそのような噴火が切迫している。 過去事例 1667年及び1739年:大規模噴火、火砕流が広範囲に流下して火口から10km以上の海岸まで到達、多量の軽石や火山灰が広範囲に堆積。 ●中～大規模噴火により融雪型火山泥流が発生して居住地域に到達、あるいはそのような噴火が切迫している。 過去事例 観測事例なし
			4 (高齢者等避難)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される(可能性が高まっている)。	警戒が必要な居住地域での高齢者等の要配慮者の避難、住民の避難の準備等が必要。	●中規模噴火の頻発等により、火砕流が居住地域に到達するような大規模噴火の発生が予想される。 過去事例 観測事例なし ●積雪期に小規模噴火が拡大し、融雪型火山泥流の発生が予想される。 過去事例 観測事例なし
警報	噴火警報(火口周辺)又は火口周辺警報	火口から居住地域近くまで	3 (入山規制)	居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	住民は通常の生活。状況に応じて高齢者等の要配慮者の避難の準備等が必要。登山禁止や入山規制等危険な地域への立入規制等。	●中規模噴火が発生し、大きな噴石が概ね3km以内に飛散、あるいは火砕流が谷沿いに流下。 過去事例 1874年及び1909年:中規模噴火、大きな噴石が火口から2～3kmまで飛散、火砕流が谷沿いに流下して火口から最大3km程度まで到達(1874年)、火山灰等が山麓まで厚さ数cmに堆積。 ●地震増加や地殻変動等により、中規模噴火の発生が予想される。 過去事例 観測事例なし
			2 (火口周辺規制)	火口周辺に影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	住民は通常の生活(今後の火山活動の推移に注意)。火口周辺への立入規制等。	●小規模噴火が発生し、山頂火口原内外に大きな噴石が飛散。 過去事例 1909年噴火以降繰り返し発生した小規模噴火、山頂部に大きな噴石が飛散。 ●地震活動や熱活動の高まり等により、小規模噴火の発生が予想される。 過去事例 1999年:山頂A火口で急激な熱活動の高まり 1997年～2001年:地震活動の活発化 1981年1月～2月:地震活動の活発化
予報	噴火予報	火口内等	1 (活火山であることに留意)	火山活動は静穏。火山活動の状態によって、火口内で火山灰の噴出等が見られる(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)。	住民は通常の生活(状況に応じて火山活動に関する情報収集、避難手順の確認、防災訓練への参加等)。状況に応じて火口内及び近傍への立入規制等。	●火山活動は静穏、状況により山頂火口内及び近傍に影響する程度の噴出の可能性あり。



【火砕流】		【泥流・土石流】		【降 灰】	
火山から噴出された高温の火山灰・軽石・岩片・火山ガスなどが、斜面を急速に流下する現象です。温度は数百℃に達します。軽石流あるいは熱雲と呼ぶことがあります。		砂・岩塊などが水と混ざりあって、高速で谷を流れる現象。谷の出口では、はん濫を起こします。火山噴火で火山灰が積もったときには、多少の雨でも発生します。これを火山泥流と呼びます。また、積雪期には、噴火によって雪が一気に溶けて、泥流が発生することもあり、これを融雪泥流と呼びます。		火山灰は上空の風に運ばれます。上空の風は、地上の風とは異なり、強い西風の日が多く、そのため、降灰の危険区域は、主に樽前山の東側に広がります。数センチ積もるだけで、道路や鉄道などの交通機関がマヒします。	
	危険度重大		危険度重大	(西風のとき)	100cm以上火山灰が堆積する危険性の高い区域
	危険度大	(積雪期には...)	危険度重大		25cm以上火山灰が堆積する危険性の高い区域 ※この区域の外にも降灰の可能性あります。
【噴出岩塊】		火山灰が積もった地域(西風の時を想定)では		(その他の風向きとき)	
直径数10cm～数mの岩が火口から数kmまで飛びます。小さな噴火でも絶対に火口に近づかないようにしましょう。		雨のときに土石流がはん濫する危険性の高い区域 ※降灰の分布によって危険区域は変わるので、これ以外の谷にも危険性があります。		風向きによっては100cm以上の火山灰が堆積する可能性のある区域 ※この区域の外でも25cm以上火山灰が堆積する可能性があります。	
	危険度重大	直径1.5mの岩が飛んで来る危険性の高い区域			